

みずほCustomer Desk Report 2017/03/10 号(As of 2017/03/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	114.60 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.42	1.0545	120.64	1.0147	1.2168	0.7527
SYD-NY High	115.00	1.0615	121.88	1.0160	1.2195	0.7535
SYD-NY Low	114.34	1.0525	120.51	1.0092	1.2134	0.7491
NY 5:00 PM	114.95	1.0578	121.55	1.0124	1.2164	0.7503
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.47/9.87	△25RR	0.170	Yen Call Over		
NY DOW	20,858.19	2.46	債券市場	日本2年債	-0.2550	2.5bp
NASDAQ	5,838.81	1.26		日本10年債	0.0960	1.6bp
S&P	2,364.87	1.89		米国2年債	1.3726	1.8bp
日経平均	19,318.58	64.55		米国5年債	2.1362	4.4bp
TOPIX	1,554.68	4.43		米国10年債	2.6053	4.6bp
シカゴ日経先物	19,365	95.00	為替市況	独10年債	0.4260	5.6bp
ロンドンFT	7,314.96	▲19.65		英10年債	1.2250	0.7bp
DAX	11,978.39	11.08		豪10年債	2.9290	6.6bp
ハンセン指数	23,501.56	▲280.71		USD/CNH	6.9046	▲0.0116
上海総合	3,216.75	▲23.92		ドルインデックス	101.99	▲0.08
USDJPY 3M Vol	10.53	0.12%	商品市況	CRB指数	183.221	▲1.83
USDJPY 6M Vol	10.31	0.05%		NY金	1,200.90	▲8.50
EURJPY 3M Vol	12.29	0.12%		WTI	49.62	▲0.66
EURJPY 6M Vol	11.45	0.04%		Dubai Spot	51.84	▲2.05

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月9日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:30	中 CPI/PP(前年比)	2月 0.8%/7.8%	1.7%/7.7%
	21:45	欧 ECB理事会・ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	21:45	欧 ドラギ・ECB総裁 記者会見	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 243K	238K

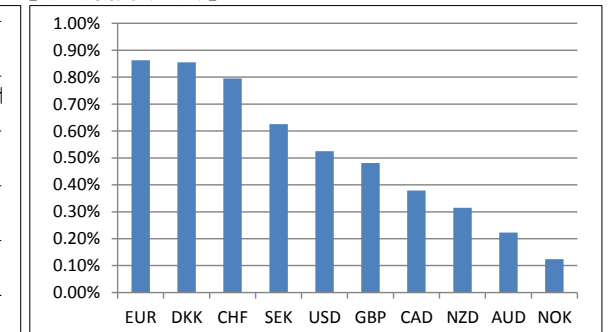
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月10日	16:00	独 貿易収支/経常収支	1月 18.0B/15.5B	18.7B/24.0B
	18:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	1月 -0.5%/3.2%	1.1%/4.3%
	18:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	1月 -0.7%/2.9%	2.1%/4.0%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 200K	227K
	22:30	米 失業率	2月 4.7%	4.8%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.3%/2.8%	0.1%/2.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-115.80	1.0540-1.0640	120.80-122.80

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上昇。米金利上昇およびECB理事会の結果を受けたクロス円の上昇を材料に上昇する展開となった。本日はドル円相場下落方向へのリスクに注意を払っておきたい。注目は海外時間に発表される米2月雇用統計であるが、先日8日の米2月ADP雇用統計の結果を受けて市場期待は相応に上昇しており、例えばFF金利先物市場において3月FOMCでの利上げは100%織り込まれている状況である。雇用統計の結果が良好であった場合には3月以降の利上げペースに注目が移る訳であるが、本格的な利上げペース加速の織り込みには来週の米FOMCを待つ必要があると考えられ、上値は限定されるだろう。一方で雇用統計の結果が予想外に悪い内容となれば、足許の期待が高かっただけにドル円相場は相応の調整を迫られることとなる。結論的には雇用統計の内容次第ではあるが、値幅という観点ではドル円相場は下落方向に値幅が出易い予想する。

東京	東京時間のドル円は114.42レベルでオープン。朝方に対外・対内証券投資が発表されるも市場の反応は限定的。日経平均が前日比プラス圏で寄り付く中、本邦実需勢によるドル買い円売りの動きも散見されドル円は仲値にかけて一時114.60まで上昇。その後は日経平均が伸び悩む中、利益確定のドル売りも散見され、ドル円は一時114.37まで軟化。引けにかけては米金利が小幅上昇する中でドル円も114円台半ばまで値を戻すも、特段目立った材料もない中で総じて動意に乏しい展開となり結局114.50レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は往って来いの展開。114.50レベルでオープン。米長期金利の上昇を背景にドル買いが強まり約3週間ぶりの高値となる114.94まで上昇。その後は米長期金利が伸び悩む中、利益確定のドル売りなどに押し下げられる格好からドル円は114円台半ばまで値を戻す展開。結局114.60レベルでNYへ渡った。ポンドドルは横ばい。1.2154レベルでオープン。特段の注目材料が無い中、米長期金利の上昇を背景としたドル買いにポンドドルは下落。その後、ECB理事会にて政策金利が0.00%に据え置かれ、中銀預金金利もマイナス0.40%に据え置きとなると、ユーロ売り優勢地合いからユーロポンドが下落し、連られる格好からポンドドルは上昇し、1.2178レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフィー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	ドル円は114.60レベルでNYオープン。早朝に行われたECB理事会では予想通り金融政策現状維持となり、市場の反応は限定的。その後行われたECBドラギ総裁の会見で「インフレは依然として低いが、成長へのリスクバランスは改善した」との発言が伝わるとユーロ買いが強まり、クロス円の上昇にドル円も連れ高となり114.88まで上昇。朝方発表された米新規失業保険申請件数は市場予想を上回ったが、米失業保険継続受給者数が予想を下回ったことから市場の反応は限定的。115円台手前ではドル売り意欲も強く、WTI原油も2日連続で下落しOPEC減産合意以来の50ドル割れとなるとドル円は反落。しかし、昨日の強い米2月ADP雇用統計を受けて明日の米雇用統計での強い結果が期待される中、ドル円は114円台後半での底堅い推移が続いた。引きにかけてはNYダウが前日比プラスで加えたこともあり、ドル円は一時高値115.00まで上昇し、114.95レベルで加えた。一方ユーロドルは1.0560レベルでNYオープン。ドラギ総裁の発言を背景に一時1.0615まで上昇。しかし1.06台ではユーロ売り意欲も強く、1.0570まで反落し、1.0578レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 島田・鶴田